

發行編輯人 川崎文浩
 印刷所 常盤毎日新聞社
 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地

常新新聞

三月十七日夕刊

第一冊 五頁
 第二冊 五頁
 第三冊 五頁
 第四冊 五頁
 第五冊 五頁
 第六冊 五頁
 第七冊 五頁
 第八冊 五頁
 第九冊 五頁
 第十冊 五頁

社員招聘

最も權威ある業務にして
 外交的手腕を有する士を望む

月俸百圓内外
 …… 委細面談 ……

東京恒産會社 磐城支社
 平野支社 通

吉田屋染工場

平町五丁目
 電話 五五八番

消防被服、手拭
 風呂敷、印半天、専染所
 小役員 募集
 弟子さん

石川牛屋

平町田町 (モシク四三番)

書食 夕食は

醬油と味噌

福島縣平町
 鹽屋山崎本店
 電話 長 二七番
 振替東京一九七五五番
 上野東車坂町四三

東京支店
 電話長淺草五七二八番
 振替東京六八三二二番

公開状

不謹慎なる
 聽衆の行動

上杉博士に呈す
 馬場豊次郎 承前

國會開院中議場で代議員が卑劣の言を發し粗暴の行を爲す事は教育を破壊し悪化を助長するに當るを以て重大事にして決して忽諾に附すべきものにあらざるに毎回益々斯る言行の頻發するも世人は敢て氣にもせず默認するが如きは何んたる事ぞ因襲か弛緩か麻痺か眞に憤慨に堪へざるなり是は早く世の制裁力を以て矯正

ヒナ人形

三月十二日ヨリ二十七日迄
 ▲粗品進呈
 いづや
 平二丁目

染色 保儉
 染物ト刺子
 柏屋染物店

拾週年記念
 大賣出し

家具店棚

各御注文品は
 敏速に勉強
 製造販賣店
 鈴木勝弥商店
 平町研町

せん事國家の爲め緊要なるべし依りて國會開院中は特に各新聞社は結束して嚴重に之を監視し荷も議場にて卑劣粗暴の言行を取行したる者あるときは容赦なく異口同音に猛烈に之を攻撃筆誅して再び代議員爲らしめざる程に督過せられん事を切望至願して止まず、それにしても議院自らも規約を設け議場にては「ア」の外の一切野次の發言を禁ずる事として之を勵行して少數多數政黨も相互に辯論を尊重謹聽するの佳風を成す様に施設する事が急務なるべし流石は英米等は院の内外を問はず他の言論を妨害する様の言行は各人相互

に慎みて毫頭之を爲さず若しあらば忽ち其者は退場させらるゝと云ふ事は記者諸氏の夙に御案内の筈に付諸士と冀くは我國家の爲め鞭責の勞を吝む勿れ」

(左は不平係へ)
 『加藤首相過日議會での御説明に思想の善導は宗教家、道徳家に待つ外はなにと仰せられたる様なるが議會にて代議員の言行は世の風教に影響する事至大なるべしと思ふが政治家は何をして致方なきや』

言論の尊重を叫ぶ口の下より他の言論を妨害する事を隨意にして居るは如何

平産婆看護婦學校

生徒募集
 平町南町 電話三〇七番

外科内科 平町鎌田町
 産婦人科
 花柳病科

金成醫院

金成忠義
 電話三五八番

平陽女學校

願書提出 三月十日迄
 佐藤鐵工所
 コークス部
 電話三六二番

急
 瓦斯コークス用
 ここんろ 大小
 入荷

内科 小兒科 淋病科 梅毒科 (需應院入)
 平町紺屋町
 藤沼醫院
 電話園五〇七番

大瀧發電所問題

解決は愈々近し

明日迄に書類の完備を
小田氏知事にちかふ

大瀧發電所問題に關しては利権派が故意に書類の完備を圖らない結果として其の解決が遷延しつつあると傳へられた爲め町民多數の激怒を招き再び

町民大會

を開催して所期目的の貫徹に努力すべく計劃中の處知事の意を体した水野部長より懇談あつた爲め其舉を延期し徐ろに形勢を觀望中の處其後同問題は頗る平町側に對して優利に展開される事となつた即ち

香坂知事

や中隈土木課長は平町側の主張を是とし去る十二日小田炭礦社長小田吉次氏を縣廳に招電し、此際利権派が平町多數の意見に逆行して横車を押さんとする行動の非なるを説き斷念の可なるべき理由を懇々と縷説せる結果小田氏も其意に服し「自分としては

勿論最初

から平町に逆つて事を爲さんとする意志は毛頭なかつたのであるが更に今回知事閣下の懇篤なる御説明に依り充分首肯し得たるを以つて大瀧發電所の計劃を斷念し第一次計劃に變更すべく今後七日間以内には必らず其書類を提出すべし」と契ふ處あつた由であつて

七日間の 日限は明日迄であるから解決は近きにありと見て差支へなからうといふ

平産婆看護婦

學校の卒業式

既報平町南町平産婆看護婦學校第十七回卒業式は昨日午後二時から舉行君ケ代の合唱あつて證書授與し校長清野キヨ子女史の訓示に次ぎ來賓總代櫻村署長の祝辭講師總代新妻醫師の祝辭あり螢の光りを合唱し卒業生總代青山サダ子の答辭あつて一同記念の撮影を爲し午後三時半閉式した因に卒業生は左の如くである

- (産婆) 青山サダ、本多ヤス、佐藤ハル、瀧澤千代、稻場ツネ、松本マサナ、半谷ハナ、根岸キヨノ、山家ハツ、下山田キツ、高野カツ、佐藤チヨ、松田千代、川本クニイ、小島スエ、宮崎チタ
- (看護婦) 國井アサイ、青山サツ、佐藤ミナ、熊谷キヨ、川見キヨ、稻場ツネ、根岸キヨ、仙波トシ、駒澤ヨス、鈴木道子、大久保ミツイ、松本マサナ、佐藤ハル、星野トミ、宮崎千代子、大河原チイ、佐藤チヨ、鈴木ヨテ、小川千代子、山家ハツ、高木ミツ、根本イネ子、中島アサ、渡邊カネ子、根本キツ、味岡静枝、高野カツ、小林マサ子、川本クニイ、猪狩トモイ、大友タケヨ、箱崎キクエ、徳永チエ、酒井ミネ、高木キミヨ、宮内アキ、大谷金子、松野スエ子、石本マサ子、佐藤ユツ、田部レエ子、竹本禮子、松田千代、矢吹トリノ

友タケヨ、箱崎キクエ、徳永チエ、酒井ミネ、高木キミヨ、宮内アキ、大谷金子、松野スエ子、石本マサ子、佐藤ユツ、田部レエ子、竹本禮子、松田千代、矢吹トリノ

財界不況の折柄

炭礦の皮肉な景氣振

鐵道納炭を見越し

常磐炭田に於ける大小無數の炭礦は財界不況のため大打撃を蒙り四苦八苦の状態にあることは屢報の通りであるが

平町地方

經濟界活殺の力を有してゐるといはれる磐城、入山の二大炭礦の現況は何うであるかと思はれるこれは亦擴張に次ぐに擴張を以てすると云ふ皮肉なる景氣ぶりを見せてゐると云ふのは兩炭礦とも鐵道省といふ大きいお得意を有してゐるので、他炭礦の氣息奄々たる

中小炭礦

の廢休坑を外目に不景氣風は何處を吹くと云つた調子で磐城、入山の二大炭礦において從



入り亂れて

花合せ賭博 石城郡内郷村大字竹の内飲食店水野谷半三郎(四)方に十六日午後十一時頃男女六名が入り亂れて花合せ賭博開帳中同村駐在巡查に探

被岸の配り物

粟餅、餅栗は五合をよく洗ひ、五六時間水につけた後筥に上げ水氣をきり、布巾を敷いたせいろの中に(

綿から發火

本日五丁目

本日午後一時頃平町五丁目綿製工場篠崎忠之助氏の綿から發火し大事に至らんとせざるを附近の者駆けつけ消火するを得た

理髮業總會

本日平署にて

既報平署管内理髮業組合臨時總會は本十七日午後一時より同署樓上に於て開會廿三日から施行される理髮業取締規則に就て協議を遂げた

女房が

唄の讀賣と

平地方へ逃走 福島市柳の前香具師木村作藏内縁の妻松田美代(二)は前借五百五十圓にて宇都宮市の某料理店に酌婦として住み込んだが去る九日同町を徘徊中のバイオリン弾き秋山操(三)と共に逃走し平町地方を唄の讀賣を爲しつつあるとて平署に搜索願出たと

石城教員檢定

石城郡に於ける尋常科准訓導及び裁縫專科教員の檢定試験は本日(三)三日間郡議事堂にて執行されるが受験者百四十である

春の洋傘

春向きの色彩とし

物が好いが或は濛い調子を上手に取扱ふがよいかと云ふ苦心の跡は毎年よく現はれて居るが今年の流行の魂として現はれた洋傘にも充分の考慮を盡してゐるのが解る先づ昨年のローズ色等の強い色彩の物は影をひそめや、

明るく

なり茶の花の色やベニざくら又は朝みどり色等軽い調子の物が多いそれにレース應用の刺繡を施し而も今迄は模様等遠慮

大眼に

取扱つて居

る或は無地に裾丈け地色とは反對色の強い感じのヘリを取り付けた物等有り單純ではあるが仲々氣持ちが好い刺繡系の色彩は裾に近づくと從つて濃くなつてゐるから自然じまりが

好い柄

は太く短く凡そ六寸前後飾り玉も單純化され大概セルロイド玉か或は好い物で象牙等で高價な石類は餘り用ひられて居ない之はドイツやフランス等の實用向きなものを

應用し

た物だそうである、骨は昨年は十本であつたが今年には八本骨が多數を占めて居るつまり一体に圖案も出来も單純で力あるものとなつて居る

貯蓄心向上

炭礦坑夫の

一人で三千圓 石城郡地方の炭坑夫は由來全く貯蓄心なく宵越しの金を持たぬと云つた

弊風が

あつて多くは平町地方の魔窟に出没して費つてゐたが昨今の不景氣の苦しさは不況これ等低

級な坑内労働者も漸く眼醒て來たのと炭礦側があらゆる方法で勸説に力めてゐるとの相待つて磐城炭礦の

如きは

従業員七千二百餘人で約四十三萬八千圓を入山では二千九百餘人で約七萬圓を何れも會社に貯蓄してるといふが坑夫一人で最高は三千圓をつんでゐる者もあるといふ有様で坑夫の間にも漸次貯蓄心の向上して來たことは充分窺はれる

平町人事

出生
△才地小路三〇 澤正路氏長男正彬
△新川町二一 野本龜吉氏次女輝子

謹告

前略 本日午後一時四十分弊店綿工場より出火の際御禮申上候可成の風にも不御事には至らず鎮火するを得候へしは平消防組の御活動の賜と熱謝罷居り候早速拜種々取り込中に候間乍略不取敢以紙上を御禮申上候

福田屋號

篠崎忠之助 平町五丁目